

浦幌新聞



2019年（平成31年）
3月25日（月曜日）

発行元

特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート

浦中2年生 地域活性化について学ぶ

1月29日（火）に浦幌中学校で、「まちづくり講演会」が行われました。この講演会は浦幌中学校の3年生が、毎年総合学習の時間に考えている「うらほろ活性化案」を考案するための活動のはじめに行われているものです。例年は3年生に向けて6月



質疑応答も行われました

頃に行われていましたが、カリキュラムの変更を受けて、今回は2年生を対象にこの時期に行われました。

今回の講演会は、浦幌町役場から水澤町長と役場総務課の菅野財政係長、NPO法人うらほろスタイルサポートから門馬理事長、子ども

の想い実現ワークショップから高室座長、株式会社ノースプロダクションから近江代表の5人を講師に招いて行われました。

水澤町長からは、浦幌町の人口減少問題を中心とした、政策や具体例の話をしていただききました。人口減少への対策として、新しく町に入ってくる人の流れを作るために、移住や仕事づくりの分野に力を入れていくそうです。



楽しく真剣に聴いていました

「TOKOMURO Lab」や「FUTABA」などを整備し、様々な動きを活発にしていこうと、大人になつたら帰ってきたい町を作ることを目標にしていると話されていました。

菅野係長からは、町の財政についての話をさせていただきました。町のお金が使われている場所や予算の組み方などの簡単な財政の仕組み、学校の暖房費など、生徒たちの身近なところで町のお金がどれだけ使われているか解説していただきました。最後に、意見を出すだけではな

く、高校生や大人になつてから自分達も実現に向けて関わっていきたいと思える活性化案を考えてほしい、と応援していただきました。

門馬理事長からは、「うらほろスタイル」の取り組みについて話していただきました。「うらほろスタイル」と題して行っている教育や人づくりの活動について、聞いている生徒たちが小学生だった頃の写真を使って振り返りました。小中学校の活動以外に、浦幌部の活動や地域おこし協力隊の活動など、具体的な町を活性化させる活動をしている人たちも話題に上がっていました。

高室座長からは、考えられた活性化案がどうなっていくのかについて話していただきました。先輩たちが考えた活性化案がどのように実現されたのか、その他の案が子どもたちの想い実現ワークショップでどのように扱われるのか説明していただきました。自分たちが浦幌町をもっと好きになるための案を考えてほしいとエールを送っていました。

近江代表からは、なぜ地域

活性化が必要なのかについて話していただきました。活性化させるということは、みんなのためでもあり自分のためでもあるということを丁寧に説明していただきました。都市部の人が浦幌町に注目していること、すでに具体的に関わっている話を、生徒たちはとても興味深そうに聞いていました。

5人の講師それぞれの視点から、町を活性化させるための情報や考え方を聞くことができ、充実した講演会になったと思います。これから先輩たちとは違った経験をしていく彼らが、どのような「うらほろ活性化案」を生み出すのか、今からとても楽しみです。

（浦幌町地域おこし協力隊 平川貴史）



懐かしい姿に笑顔も

雪をたのしむそりすべり

2月8日(金)に浦幌小学校の1・2年生が、自然体験学習の一環として、そりすべりを行いました。当日は曇天で風も吹いており、着込んでいても寒さを感じる気温でしたが、児童たちは寒さに負けず元気いっぱい楽しんでいました。



先生と一緒にすべりました

1年生は、すべり始めはスピードを出しすぎてしまったり、横転したりしてしまったり、児童が多くみられましたが、何度もすべりうちに自分に合ったすべり方を身につけていきました。

大熱狂のスノーモービル



ていきました。2年生は最初から慣れた様子ですべっていて、後半は後ろ向きにすべる、寝そべりながらすべるなど、工夫したすべり方を楽しんでいました。

会場には地域・保護者の方にご協力いただき、スノーモービルが用意されていました。スノーモービルで子どもたちが乗る大きなそりやバナナボートをひっぱっている様子はスキーリゾートのようで、子どもたちはとても楽しい経験をしてい

ました。児童にはもちろん大人気で、次はどれに乗ろうか考えている表情は、乗っている時に負けないくらい素敵なお笑顔をあふれていました。

例年と比べ雪が少なく、学校や家庭で雪遊びができなかった分、待つてましたとばかりに全力で遊ぶ児童の姿は、この1年私が見てきた児童の姿の中でも1・2を争うくらいにいきいきとしていました。夏の川遊びと同様、浦幌町の自然を満喫したこの授業は大人になっても忘れない思い出の1つになること間違いありません。

(浦幌町地域おこし協力隊 平川貴史)



転んでも楽しそうでした

浦幌部 3年間の成果発表「マイプロ北海道大会」

浦幌部が2月17日(日)に札幌市で開催された、全国の高校生が行っている探究学習の成果を発表する「マイプロプロジェクトアワード」の北海道大会に参加しました。

浦幌部は、結成してからの3年間の活動の軌跡と自分達の学び、浦幌町への想いについて発表しました。浦幌部は「HOME」であると語る真剣な表情からは、友人や浦幌町への熱い気持ちが伝わってきました。

大会を終えた高校生は、「自分たちはかなり精力的に活動している高校生だと思っていたが、他にもすごい高校生がいて驚いた」「やりきることはできたけど、伝えきれなかったことが悔しい。これからもっと頑張っていきたい」と話していました。1日の中で多くの刺激を受け、これからの活動に活かそうと意気込んでいました。

また、審査員や他の出場団体の方々から、「浦幌部の活動って素敵ですね」「これか

らも注目していくので頑張ってください」などの声をかけていただくことができました。そのような声も高校生たちの励みになったのではないのでしょうか。

今回大会に向けて活動したことで、自分たちの活動が、自分や町に対してどのような意味があったのか考える機会になったのではないかと思います。今回の学びを糧に、来年度の活動をよりよいものにしていくってほしいです。

(浦幌町地域おこし協力隊 平川貴史)



真剣な想いが伝わってきました